



2014（平成26年）1月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎 3階

TEL 048-822-1120 FAX 048-822-1121 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホムペジ <http://sainokuni-sasa.or.jp>

新年のごあいさつ

埼玉県知事、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会名誉会長
上田 清司

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会関係者の皆様、新年おめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は経済に明るい兆しが見えましたが、今年はこの流れを本格的な成長につなげることが必要です。

私は、自治体が知恵を絞り、スピーディーに施策を展開することが日本の元気を取り戻すカギと考え、全国をリードする取組を進めてきました。

例えば、中小企業向けに無担保・第三者保証人なしで融資が受けられる仕組みを作りました。

最近10年間の県内銀行の貸出金残高の増加額は全国2位と、企業活動の活発さを物語っています。

企業誘致でも、個々の企業のニーズに応じた迅速なサービスをワンストップで提供することで、平成17年からの誘致実績は675件となり、約2万2千人の新規雇用と約1兆円の投資が見込まれています。過去10年間の企業本社の転入も1,324社と日本一です。

グローバルな競争が激化する中、私は地方が主体的に地域の産業や雇用を創出する「通商産業政策の地方分権化」が日本の競争力を高めると考えています。

埼玉県ではアジアの活力を取り込むため、県内企業の海外進出を支援する窓口を中国やベトナム、タイに設置しました。また、県内企業の製品や技術の海外への売込みも行っています。

交通網が発達し研究機関も集積している本県の優位性を生かし、先端産業の育成などにも取り組みます。

また、グローバル人材の育成のため10億円規模の基金を創設し、3年間で延べ800人の奨学生を送り出しました。

さらに、若者の自立を支援するため、生活保護世帯の子供への学習支援や不登校対策、発達障害の早期発見とケアにも力を入れています。

一方、日本全体が抱える課題に成功モデルを示せるよう「埼玉エコタウンプロジェクト」「健康長寿埼玉プロジェクト」「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」も進めています。

自治体が切磋琢磨する中で日本を元気にする政策が蓄積されます。競い合うことで日本の元気を盛り上げる。埼玉県はそのトップランナーとして日本の再生を先導していきます。

スポーツ協会関係者の皆様とは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、障害者スポーツの更なる振興に取り組んでいきたいと思っております。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会 会長 塩浦 綾子

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を皆様お揃いで健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、当協会は平成16年12月に発足し、本年12月にはお陰様をもちまして設立10周年を迎えることとなりました。これも偏に多くの皆様の温かいご支援ご協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、「彩の国ふれあいピック春季大会・秋季大会・球技大会の開催」また自主事業として引き続き「出前スポーツ教室」「親子水泳教室」「ティールーム教室」「ソフトボール教室」の開催、大会として「ふれあいソフトボール大会」「浦和レッズ・大宮アルディージャカップサッカー大会」「ボッチャ大会」「四面卓球バレー大会」を開催するなど、積極的に事業を進めて参りました。

なかでもふれあいピック秋季大会では、障がいの種別を越え、ひとつになってスポーツを楽しんでいただき、多くの参加者から喜びの声を寄せて頂きました。

また10月、東京都で開催された「全国障害者スポーツ大会」では、フットベースボールをはじめ4球技競技の関東ブロック地区予選会優勝により、埼玉大会以来の選手、役員総勢192名の大選手団の派遣となりました。参加した選手の皆さんは、競技だけでなく全国の仲間たちや学生ボランティアとの交流を深めるなど大きな成果をあげることが出来ました。

昨年9月、2020年オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定しました。この決定により障がい者スポーツを取り巻く環境が大きく動き始めています。障がい者スポーツの主管官庁の変更やスポーツ庁設立の方針が示されスポーツ政策の一元化が進められるなど本年は、障がい者のスポーツ環境が大きく前進する大切な年になると思っております。当協会としても、国等の動向を注視し、より積極的な取り組みを行っていききたいと思います。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、「SPORTS FOR EVERYONE」のスローガンのもと、「いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しめるスポーツ・ノーマライゼーションの実現に向け」全力で取り組んでまいります。

本年も引き続きの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。



新年の抱負



全国障害者スポーツ大会、彩の国ふれあいピックに参加した選手・スタッフや、この大会そして2020東京オリンピック・パラリンピック出場を目指す皆様から年頭に当たっての抱負が寄せられました。笑顔と感動あふれる一年になりますように願いをこめて、ここにご紹介します。（順不同）

埼玉県障害者
アーチェリー協会
会長 寺方 克彦

新年あけましておめでとうございます。
昨年は2020年東京オリンピック、パラリンピック開催決定のうれしいニュースがありました。

私どもアーチェリー協会も拠点の「埼玉県障害者交流センター」において、入門者に楽しさを実感していただくための体験会、初心者との親睦・技術向上を図るための練習会・ミニ大会開催などの活動に努めてまいりました。

お陰様で数多くの選手が県大会出場へステップアップ、10月全国障害者スポーツ大会では小林和生、成川雄一選手が種目金メダル、11月「WAパラ世界選手権」の団体で平沢奈古選手が銅メダルと国内外に渡り活躍することが出来ました。



今年ますますスポーツに注目が集まる年になると思います。
引き続き交流センターでの初心者・選手育成、トップアスリートへの支援に努めていきたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

埼玉県障害者
スポーツ指導者協議会
会長 河野 章

あけましておめでとうございます。
昨年は大変お世話になりありがとうございました。

スポーツ基本法が平成23年に施行され、昨年、2020年パラリンピックの開催地が東京に決定し、今、障がいのある方のスポーツを取り巻く状況が大きく動き始めています。この動きの中、「障害者スポーツ指導員の役割は？何をするとよいのか？何が出来るのか？」等などを念頭に、地域での障がいのある方及び指導員の活動を盛り上げることに繋げられるよう、皆様からのご協力やご指導などをいただきながら、これからの活動に取り組みたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

埼玉県障害者
卓球協会
会長 白石 三重子

“卓球を楽しもう”

新年あけましておめでとうございます。

埼玉県障害者卓球協会は、今年で設立10年が過ぎました。障がいの有無に関係なく老若男女…現在136名の卓球愛好者が“卓球を楽しもう”を合言葉に、「サウンドテーブルテニス」「一般卓球」と、それぞれ活動を行っております。

昨年は、2020年のパラリンピックの開催地が東京に決まりました。これからスポーツに対する興味や関心が一層深まっていくものと思われれます。

今年も、会員皆さんと共に、卓球を楽しく続け、6年先の東京パラリンピックを盛り上げていければと思っております。

最後になりますが、今後とも、埼玉県障害者スポーツ協会のご指導と御協力を賜りますようお願いを申しあげまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

埼玉県障害者
フライングディスク協会
理事長 鈴木 英彦

新年あけましておめでとうございます。
昨年話題となりました、2020年オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。思い起こせば、全国障害者スポーツ大会埼玉大会からすでに10年が経過しようとしています。6年後の東京オリンピック・パラリンピックもすぐに来てしまうのではないかと思います。

さて、障害者フライングディスク協会の運営は、障害者スポーツ協会をはじめ、各競技団体等の連携を頂き順調な運営状況であることを報告いたします。また当協会運営を支えて頂いている会員の方々や理事の皆様感謝の気持ちでいっぱいです。



最後になりますが、障害者スポーツ協会の益々のご発展と皆様方のご健康をお祈りしまして年頭のご挨拶といたします。

東松山フライングディスク教室の皆さん（年間12回実施）



2014 年も “がんばろう！埼玉！！”



埼玉県障害者
ボッチャ協会
事務局長 布川 英之

新年明けましておめでとうございます。
昨年マレーシアで行われた19歳以下の選手を対象とした大会「アジアユースパラゲームス」で、越谷特別支援学校に在籍する菅野結希選手が出場し、銅メダルを獲得いたしました。応援をいただいた皆様には感謝を申し上げます。
今年も国際大会への出場・活躍をすべく、埼玉の選手たちは練習を行っていますので引き続き応援いただけるとありがたいです。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まりました。パラリンピックの正式競技であり、重度障害者を対象としたスポーツである「ボッチャ」は今後注目されることでしょう。

本協会としても、県内で多くの方にボッチャを知っていただき、盛り上げていきたいと思っております。

今年度も様々な事業を計画しておりますので、御参加、御協力をお願いいたします。



第13回全国障害者
スポーツ大会
水泳・埼玉県代表選手
近藤 瑞紀
近藤 伸子

● 近藤 瑞紀 ●

私は、今年も全国障害者スポーツ大会の水泳代表選手になりたいです。そして、昨年取れなかった金メダルを取りたいです。

それから、ジャパンパラ大会、アジアユースパラ大会、2020東京大会の選手に選んでもらえるように、水泳の練習を頑張ります。

● 母 近藤 伸子 ●

昨年、娘は「水泳競技」を通して沢山の方と出会い、全国障害者スポーツ大会では出場種目全てで自己ベストを更新しただけでなく、失敗から

いち早く立ち直り気持ちを切り替える精神面の強さを学びました。

予選を勝ち抜き初めて挑んだ全国大会でした。初戦での銀メダルも嬉しかったのですが、200mリレーで泳者、チームメイト、応援者の心がひとつになり3位となったあの瞬間が一番嬉しく思えました。

サポートしてくださる方がいたからこそ、力を発揮し前に進めた娘です。今年も感謝を忘れず最高峰を目指します。



平成25年は、全国大会に出場することができました。

1回戦は、岩手県チームと戦い、1点差で負けてしまいました。僕は初めての出場でした。少し緊張した中で、自分なりのプレーができたのでよかったです。

来年は、全国に出場して、まずは1勝して、頑張りたいです。

今年で高校生活が終わって、これからは社会人としてフットベースボールと仕事を頑張っていきたいと思っております。

フットベースボール
埼玉県チーム
選手 村上 諒





の国トップアスリートからの

新春メッセージ

氏名50音順の掲載です。

埼玉県を代表するトップアスリートから新春メッセージをいただきました。
今シーズンもトップアスリートからのメッセージを胸に頑張りましょう！！

大宮アルディージャ GK 背番号35 川田 修平 選手

(埼玉県深谷市出身)

「みなさん、新年あけましておめでとうございます。

大宮アルディージャの川田修平です。

去年は、年間を通じた監督・コーチの指導のお陰でU-20日本代表に選出されることが出来ました。チームの公式戦こそ出場することは出来ませんでしたが、チャンスが来た時にいつでも全力を出せるよう、今年も更に毎日の練習から自分のレベルを上げて代表に選ばれ続けたいと思っていますので、皆さんも日々自分の好きなことに全力で取り組んでください！私もみなさんに夢や感動を与えられるような選手になれるように更に努力していきたいと思えます。

そして、大宮アルディージャの今年の目標が達成出来るように、NACK5 スタジアム大宮でファン・サポーターのみなさまと共に闘いたいと思えますので、応援よろしくおねがいいたします。」



©1998 N.O.ARDIIJA

女子プロ野球リーグ アストライア キャプテン 川端 友紀 選手



「明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、2014年の健やかなる新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年、私はさいたま市を活動の拠点とする新球団「アストライア」へ移籍しました。新しい環境で不安もありましたが、結果としてチームが女王（年間の総合優勝）となり、個人では打率、打点、出塁率でリーグ1位になることができました。過去、3年間は勝つことができず、悔しい時期もありましたが、諦めず、好きな野球を続けることで夢は必ず叶うと信じていました。今年も感謝の気持ちを忘れず、チームの連覇を目指し、女子プロ野球の発展に貢献したいと思いますので、皆さんも好きなことを続けてみる1年にしましょう。4月には新しいシーズンが始まりますので、試合会場で皆さまにお会いできることを楽しみにしています。」

《2013年の実績》

試合数46試合、全試合出場、打率.431、打点34、出塁率.537の3冠
2013年日本女子プロ野球リーグのMVPを受賞
兄は東京ヤクルトスワローズの川端信吾選手



の国トップアスリートからの

新春メッセージ

埼玉ブロンコス キャプテン 原口 真英 選手

「10月から開幕し、まだシーズンは始まったばかりですが、今シーズンは新たに石橋ヘッドコーチのもとチーム一丸となって戦っています。

勝ち星を重ねることはなかなか簡単にはいきませんが、応援してくださる皆様と一体となってチーム一同全力で1試合1試合に挑みたいと思います。

スポーツは、目標を持てたりいいリフレッシュになるので、是非皆さんにも積極的に楽しんでいただきたいと思います。

今シーズンも応援よろしくお願ひします。」



©HIROKO WATANABE / SAITAMA BRONCOS / bj-league



©SEIBU Lions

埼玉西武ライオンズ #35 牧田 和久 投手

「皆さま、新年あけましておめでとうございます。

埼玉西武ライオンズの牧田和久です。

昨年は、最後まで熱いご声援をいただきありがとうございました。今シーズンは、昨年の悔しさを忘れずに、パシフィック・リーグ優勝、そして日本一をめざし、チーム一丸となり頑張ります。

県民の皆さまのご声援が選手にとって大きな力となります。今年も、埼玉西武ライオンズに熱いご声援をよろしくお願ひします。

スポーツに取り組む皆さま、スポーツを通じてお互いを理解しあい、たくさんの方々との絆を大切にしてください。そして、喜びと感動と笑顔を大切に、スポーツを通じてさまざまな分野にチャレンジしてください。

埼玉西武ライオンズ選手一同、皆さまの活躍を期待しています！」

戸田中央総合病院女子ソフトボール部 山崎 泰稔 監督

「新年明けましておめでとうございます。昨年もソフトボール教室にお招きいただきまして本当にありがとうございました。

昨年の成績は、7勝15敗第9位と目標であった日本リーグ1部での上位進出を達成できずすることができませんでしたが、最後まで諦めず戦い抜くことができました。

今年は、その昨年の悔しい想いを力に変え、日本リーグ1部での上位進出という目標に向かってチーム一丸となりさらなるレベルアップに努めてまいります。

また、スポーツに取り組む障害者の皆様には、スポーツを通して様々な方と交流を深め、スポーツの楽しさとともに分かち合い、これからも一緒に取り組んでいけたらと思っています。

今後の皆様の活躍と更なる向上を期待しております。

本年も変わらぬご支援、ご声援のほど、宜しくお願ひ申し上げます。」



さらなるレベルアップに向けて



平成25年11月17日（日）、「ソフトボール教室」を戸田中央総合病院女子ソフトボール部を講師にお招きし、春日部市立武里中学校のグラウンドにおいて開催しました。

この教室は、ソフトボール競技における選手のレベルアップ、競技人口・底辺の拡大等を目的に開催したものです。今年で6回目を迎えた教室には、「埼玉県代表」「さいたま市代表」ソフトボールチームをはじめ、会場である武里中学校のソフトボール部、春日部共栄高等学校ソフトボール部など60名が参加して行われました。

開講式では、当協会松本副会長、戸田チーム山崎泰稔監督のご挨拶があったのち、教室では、キャッチボール・守備・バッティング・ピッチングの基本について学び、最後に戸田チーム古賀投手、大平投手の投げる球を参加者が打つという「戸田チームに挑戦」を実施。戸田チームの投げる速い球に歓声上がり、またバッターがヒットを打つ

と大きな歓声があがるなど楽しい雰囲気の中教室が終了しました。

ナガセケンコーカップ 第2回彩の国ふれあいハート&スマイルソフトボール大会

ふれあい深まる

ナガセケンコーカップ第2回彩の国ふれあいハート&スマイルソフトボール大会を平成25年12月1日（日）荒川総合運動公園において開催しました。

今大会は障がい者のチームと健常者のチームが対戦する形式を取り入れ、障がい者のチーム4チーム、社会人チーム4チームの計8チームが参加しました。

開会式では一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会重田博副会長が主催者挨拶を述べ、その後、参加選手を代表してさいたま市の小島由伸選手が選手宣誓を行いました。

試合は、初出場のチームが活躍し、決勝戦は馬宮東さくら草対馬宮西さくら草の対戦となり、見事馬宮西さくら草が接戦を勝ち抜き初優勝を飾りました。昨年に引き続き、優秀選手を各試合毎に選出し、試合の最後に各チームの監督から発表され閉会式の際に表彰されました。



大会結果

優勝 馬宮西さくら草
準優勝 馬宮東さくら草
第3位 浦和SG

平成25年度 彩の国ふれあいボッチャ大会

タイブレーク計8試合の大接戦



平成25年度彩の国ふれあいボッチャ大会を平成25年12月7日（土）埼玉県立武道館において開催しました。

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。本県でも年々競技愛好者が増えてきています。

そんな中、本大会には昨年を上回る競技部門15チーム、交流部門21チームの計36チームが参加しました。

大会は予選リーグ・競技部門を5リーグ、交流部門を7リーグに分け、各リーグ1位と2位の上位チームが決勝トーナメントに進出する方式で行いました。

予選リーグでは、36試合中8試合がタイブレークになるなど大接戦が展開されました。決勝トーナメントは各部門8チームの間で争われ、決勝トーナメントでも5試合がタイブレークとなるなど白熱した試合が続きました。

大会結果

【競技部門】

優勝 ひまわり会C
準優勝 埼玉ボッチャクラブ・ファイヤー
第3位 ヒダカストーム

【交流部門】

優勝 ドリームロイド（熊谷特別支援学校）
準優勝 越谷特別支援学校B
第3位 宮代イオン

ふれあい野球教室 コーチは日本一の高校生 全国制覇の浦和学院高等学校野球部が指導

ふれあい野球教室を平成25年11月24日（日）埼玉県営大宮公園野球場で、講師として今春の第85回記念選抜高等学校野球大会で全国優勝を果たした浦和学院高等学校野球部をお招きして開催しました。

教室は「ふれあい」「投げる」「捕る」「打つ」「ふれあい」の5部構成で行い、キャッチボールやノックなどで部員と参加者が一緒に野球を楽しみました。

最後の「ふれあい」では、浦和学院高等学校野球部の試合前7分ノックなどのデモンストレーション、参加者から野球部員への質問コーナーを行いました。

質問コーナーでは、参加者からの「難しいと感じるポジションはどこですか」や「練習はどれくらい行うのですか」などの質問に、部員がひとつひとつ丁寧に答えてくれました。

最後には参加者と部員が全員ハイタッチをし、教室を終了しました。



ふれあいティーボール教室



ふれあいティーボール教室（第3回）を平成25年12月6日（金）県立所沢おおぞら特別支援学校で開催し、同校高等部3年生28名が参加しました。

講師として日本女子プロ野球リーグのイーストアストライア、ノースレイアで活躍し

ている4名（大倉三佳選手、大澤靖子選手、碓美穂子選手、泉由有樹選手）をお招きし、その他サポートスタッフとして4名の埼玉県障害者スポーツ指導者にご協力いただきました。

教室は、4グループに分かれてのキャッチボールとバッティング練習の後、ゲームを行いました。キャッチボール練習では、講師からアドバイスを受けながら行い、最初は慣れない動きに戸惑っていた生徒も、繰り返す毎にコツをつかんでいく様子が見られました。

ふれあいサッカー教室



ふれあいサッカー教室（第10回）を平成25年12月17日（火）、県立所沢おおぞら特別支援学校で開催し同校高等部2年生37名が参加しました。

講師として元なでしこジャパンの北本綾子選手、元浦和レッズレディースの木原梢選手をお招きし、その他サポートスタッフとして4名の埼玉県障害者スポーツ指導者にご協力いただきました。

教室は、全員で準備体操を行ったあと、北本先生グループと木原先生グループに分かれてスタートし、北本先生グループはスキルアップ、木原先生グループはボールに親しむことをコンセプトにボールフィーリング、シュート練習、ドリブル練習、ゲームなどのメニューを実施しました。

出前スポーツ教室 県立宮代特別支援学校・四面卓球バレー教室

広げよう、四面卓球バレーの輪

平成25年12月10日（火）、埼玉県立宮代特別支援学校において、四面卓球バレー教室が実施され、当協会職員3名が講師として参加しました。

午前中は高等部二つのグループを対象に四面卓球バレー教室、卓球バレー教室を実施。教室ではルール説明やボールを打つ練習後、ゲームを行いました。昼休みには四面卓球バレーの体験コーナーを設置。小学部から高等部の多くの児童・生徒、教員の参加をいただき、ゲームを楽しみました。

参加した生徒からは、「四面卓球バレーは初めてやったけどおもしろかった。」「楽しかった。」と感想がありました。



第13回全国障害者スポーツ大会 埼玉県選手団 思い出の会

仲間との再会 あふれる笑顔

第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」埼玉県選手団思い出の会を平成25年12月21日（土）、彩の国すこやかプラザにおいて開催し、選手、役員、ご家族124名が参加しました。

思い出の会は、長野哲也総監督代行（一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会理事）から挨拶をいただいた後、アーチェリー競技福田孝一監督、旗手をつとめたフットベースボールの有原正純選手の掛け声とともにジュースで乾杯をして開会。思い出ビデオの鑑賞、スポーツ協会職員バンドによるクリスマスコンサート、プレゼント抽選会を行うなど楽しいひと時を過ごしました。久しぶりに会う仲間も多く、各テーブルでは大会の思い出話や近況報告に花が咲いていました。



平成25年度 第2回理事会

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会平成25年度第2回理事会を平成25年12月4日（水）彩の国すこやかプラザにおいて開催しました。

- 議案第6号 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会平成25年度補正予算について
 議案第7号 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会会員の入会承認について
 議案第8号 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会平成25年度収支中間決算について

上記3議案が上程され、慎重審議の結果、全議案が承認されました。

- ＜協議事項＞ 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年事業について
 ＜報告事項＞ ①第13回全国障害者スポーツ大会“スポーツ祭東京2013”について
 ②平成25年度彩の国ふれあいピック秋季大会について
 ③平成25年度ふれあい地域振興事業について
 ④世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業について



賛助会員・特別会員の皆様

○賛助会員（平成26年1月1日現在 団体会員 78団体、個人会員 100名）

（順不同、敬称略）

【団体会員】

青木信用金庫	埼玉県立上尾高等学校	東彩ガス株式会社
曙ブレーキ工業株式会社	さいたま商工会議所	東神システム株式会社
有限会社 上尾ガラス工事店	一般財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団	株式会社 トーシンパートナーズ
生駒硝子株式会社	埼玉田中電気株式会社	永山建設株式会社
井上スパイス工業株式会社	埼玉トヨペット株式会社	日本信号株式会社
株式会社 ウチダオート	埼玉りそな銀行	株式会社 ニューオタニ
エーザイ株式会社	斎藤工業株式会社	ネットヨタ東埼玉株式会社
株式会社 エフエムナックファイブ	彩の国 SP グループ	株式会社 パーパス
株式会社 央浦印刷社	サイボー株式会社	株式会社 ピックルスコーポレーション
金子物産株式会社	澤田ダイカスト工業株式会社	株式会社 帆足ビジネス・コンサルタント
カルソニックカンセイ株式会社	株式会社 JTB 関東法人営業埼玉支店	北辰図書株式会社
川口信用金庫	株式会社 シカクラ	前澤工業株式会社
関東自動車株式会社	株式会社 島村工業	前田印刷株式会社 筑波支店
共栄企画株式会社	株式会社 昭和工業	前田食品株式会社
クラブ ILO	株式会社 新研設備工業	三国コカ・コーライーストジャパン株式会社
株式会社 グリーン企画社	株式会社 住田光学ガラス	ミズノ株式会社 大宮営業所
株式会社 コア	太平ビル管理株式会社	ムサシノ機器株式会社
越谷市精神障害者を守る会（やまびこ家族会）	株式会社 タナベ建設	株式会社 武蔵野銀行
株式会社 サイサン	株式会社 秩父開発機構	株式会社 メイコー・明高堂
埼玉グラフ株式会社	秩父鉄道株式会社	株式会社 八木橋
社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会	長生館	八千代工業株式会社
埼玉縣信用金庫	積田冷熱工事株式会社	山三電機株式会社
埼玉県生命保険協会	有限会社 ティエムエステート	株式会社 ヨコハマタイヤジャパン
埼玉県知的障害児者生活サポート協会	株式会社 デサン	株式会社 ヨコハマタイヤセンター関東
社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会	デジコム株式会社	株式会社 リサイクルアシスト
埼玉県発達障害福祉協会	株式会社 テレビ埼玉	株式会社 和幸製作所

【個人会員】

梅沢 芳史	兼子 章	斎藤 信治	高荷 匡史	田端 健治	野村 春文	森田 明彦
太田 まゆみ	川島 健司	桜田 潔	高見 文雄	筑井 竜哉	比留間 圭祐	山崎 耕
岡崎 弘幸	小峯 悟	塩川 修	竹熊 美貴子	常見 浩	峯岸 直子	
小野塚 邦彦	戸森 郁子	鈴木 孝則	竹本 涼輔	鶴岡 均	毛利 珠美	

○特別会員（平成26年1月1日現在 県内61市町村）

（順不同）

さいたま市	飯能市	鴻巣市	入間市	富士見市	吉川市	滑川町	横瀬町	上里町
川越市	加須市	深谷市	朝霞市	三郷市	ふじみ野市	嵐山町	皆野町	寄居町
熊谷市	本庄市	上尾市	志木市	蓮田市	白岡市	小川町	長瀨町	宮代町
川口市	東松山市	草加市	桶川市	坂戸市	伊奈町	川島町	小鹿野町	杉戸町
行田市	春日部市	越谷市	久喜市	幸手市	三芳町	吉見町	東秩父村	松伏町
秩父市	狭山市	蕨市	北本市	鶴ヶ島市	毛呂山町	鳩山町	美里町	
所沢市	羽生市	戸田市	八潮市	日高市	越生町	ときがわ町	神川町	